

茨木市市民会館跡地エリア活用基本計画

【 資 料 編 】

平成 30 年（2018 年）12 月



茨 木 市
Ibaraki City

○茨木市市民会館跡地エリア活用基本計画【資料編】 目次

1 ヒアリング・アンケート編

(1) ホール利用団体へのヒアリング等調査

- ①実施概要 1
- ②音楽・文化芸術関係団体へのヒアリング 2
- ③学校園(小中学校・利用高校及び私立保育園・幼稚園)へのヒアリング・アンケート 4
- ④ホールに関する有識者ヒアリング 7

(2) ホール・図書館・子育て支援施設 利用者アンケート調査

- ①実施概要 8
- ②ホール利用者 9
- ③図書館利用者 10
- ④子育て支援施設利用者 11
- ⑤跡地エリア活用の全体イメージについて 12

(3) 広場の使い方・過ごし方アンケート調査 @ BOOK TRAVEL

- ①実施概要 13
- ②調査結果 13

2 ワークショップ編

(1) 市民会館跡地エリア活用施設・広場づくりワークショップ

- ①実施概要 16
- ②施設編 17
- ③広場編 22

(2) アクティビティ調査(一部抜粋)

- ①実施概要 26
- ②調査結果 26

1 ヒアリング・アンケート編

(1)ホール利用団体へのヒアリング等調査

①実施概要

(順不同)

実施期間	平成 30 年(2018 年)6 月～9 月	
調査対象 (計 15 団体)	【音楽・文化芸術関係】 ・茨木市文化振興財団 ・茨木市音楽芸術協会 ・茨木市吹奏楽団 ・茨木ママプラスひまわり ・茨木市詩吟連盟 ・茨木市合唱連盟 ・ストリートダンススクール ブーム ・バレエスタジオ ミール	【学校(小中学校・高校)】 ・茨木市公立小学校校長会、小学校音楽部会 ・茨木市公立中学校校長会、中学校音楽部会 ・大阪府立北摂つばさ高校 ・大阪府立春日丘高校 ・大阪府立茨木高校 【私立保育園・幼稚園】 ・私立保育園連盟 ・私立幼稚園連合会 【ホール有識者】
調査方法	・ヒアリング形式 元市民会館や市内のホールを利用してきた団体の方々から、使いやすいホールの規模や客席数、関連諸室の動線など、ホールに対する意見や要望を聞いた。	

②音楽・文化芸術関係団体へのヒアリング

i) ヒアリング対象

以下の8団体へのヒアリングを実施しました。(順不同。括弧内は表記上の略称。)

- ・茨木市文化振興財団(財団)
- ・茨木市音楽芸術協会(音芸協)
- ・茨木市吹奏楽団(市吹)
- ・茨木ママプラスひまわり(ひまわり)
- ・茨木市詩吟連盟(詩吟)
- ・茨木市合唱連盟(合唱)
- ・ストリートダンススクール ブーム(ダンス)
- ・バレエスタジオ ミール(バレエ)

ii) ヒアリング結果(主要望・意見)

項目		要望・意見【音楽・文化芸術関係】
メインホール (大ホール)	客席数	・200～300 席の利用が一番稼働率が高いため、500～600 席程度のホールが欲しい。(音芸協) ・本市や他団体を含めて、大規模なコンサートを行うことが多く、800 席では席数不足から実施出来ていない状況。(市吹) ・近年は約 600～700 人程度の動員数のため、800 席では少し足りない印象。2層などに分かれる場合は、1階席部分だけで 800 席は欲しい。(ひまわり) ・600～700 席程度あればよい。(合唱) ・客席数は 500～1,000 席程度が使いやすい。可能であれば 1,000 席以上欲しい。(ダンス) ・客席数について、1,000 席は絶対に確保したい。1,000～1,200 席程度が基準になってくると思う。(バレエ)
	可動席・災害時対応	・大ホールの可動席は考えにくい。導入することでホールの特徴が損なわれることはよくない。ただし、災害時対応の観点から必要であれば固執はしない。(音芸協) ・災害時の利用について、天井吊りの機構が多いため、避難所にはできないと思われる。(市吹) ・揺れや音の問題がない可動席であれば問題ないのでは。(ひまわり) ・可動席は、人の動きに連動して席が揺れるため良くない。(合唱) ・大きな体育館でダンスバトルを行う際、可動席によりセンターステージ構成にすることがよくある。(ダンス) ・可動席を大ホールに設けるのは、据え置き形の形のまま使われることが多い印象があり、あまり良くないのではないかと思うが、災害時の物資の集積所としての利用を考えると必要かもしれない。(バレエ)
	親子室	・親子室を設けること。公演のないときは練習室として利用できれば、ホールの大きな特色となると思う。(市吹) ・演奏中に子どもが泣いた時など親や周りの観客も気にされるので、親子席を設置してもらえると嬉しい。(ひまわり) ・最近のホールでは設置されており、親子室は必要。(合唱) ・どこの親子室も小さいため、可能であれば 10 人程度が収容できる規模があるとよい。(バレエ)
	音響	・プロが使っても遜色ない良いホールを作ってほしい。ホールについては規模より音響に力を入れてほしい。(音芸協)



項目		要望・意見【音楽・文化芸術関係】
		・残響音 2 秒とよく言われるが、それでは多目的ホールとはなり得ないと思う。(市吹) ・音響はクリエイティブセンターに近いものであればよい。(ひまわり) ・立命館ホール程度の音響性能は確保してほしい。(合唱) ・団体によって求める音響が異なるのではないかな。(ダンス)
	舞台の大きさ	・十分な面積とバックヤードや動線を確保してほしい。(音芸協) ・一般的に奥行 14m くらいでよいと思う。(市吹) ・立命館ホールの舞台規模で問題ない。(ひまわり) ・40～50 人待機できる舞台袖があればよい。(詩吟) ・舞台幅は 7～8 間(約 12.6～14.5m)程度はほしい。(合唱) ・奥行があればできる演出も増える。(ダンス) ・間口 9 間(約 16.2m)、奥行き 6～7 間(約 10.8～12.6m)、舞台袖は 4 間(約 7.2m)程度あるのが望ましい。(バレエ)
	舞台機構	・オーケストラピットは利用頻度が少ない。(財団) ・舞台袖のスペース確保のため、音響反射板は上に可動するものが理想。また、本格的なオーケストラピットは必要ない。(市吹) ・オーケストラピットは、舞台奥行きが十分あれば必要ない。(合唱)
多目的ホール	客席数・使い方など	・250 席程度の規模で、音響に優れた小ホールとすれば目玉になるのでは。(音芸協) ・元市民会館のドリームホールは使い勝手が良く、1 団体での発表会などによく利用していた。(合唱) ・規模の異なる複数のフラットな多目的ホールがあれば、利用の幅も増えてよいと思う。(ダンス)
関連諸室・動線など	ホワイエ	・公演の受付(チケットもぎり)ができるスペースが必要。(市吹、ダンス)
	リハーサル室・練習室	・リハーサル室を設ける場合は、楽屋や練習室など複数の使い方ができるようにすべき。(音芸協) ・リハーサルや練習など音出しのできる部屋がほしい。(ひまわり)
	楽屋(控室)	・階段なしで楽屋へ行けるのがよい。(財団) ・立命館ホールは2室しかなく、更衣室もないため不便。全ての楽屋が同一フロアになくてもよい。(市吹) ・楽屋を広くしてほしい。舞台と同じフロアにある方が使いやすい。(ひまわり) ・舞台のすぐそば(裏)に楽屋などを配置してほしい。(詩吟) ・大部屋一つより、小部屋が多くある方が使いやすい。(合唱)
	会議室	・会議室や楽屋、練習室など、さまざまな用途で使えるような部屋が必要。防音仕様にすれば、練習などにも使える。(財団) ・できるだけ多く設けてほしい。(詩吟) ・福祉文化会館にあるような会議室を設置してほしい。(合唱)
	トイレ	・公演時に混雑しないように。演者側と来館者を分ける。(市吹) ・トイレは全て洋式とし、演者用トイレを楽屋近くに配置すべき。(合唱)
	搬入動線	・4トラック2台など、ホールと搬入口が直結するのがよいが、エレベーターでの上層階への搬入でも使うことはできる。(市吹) ・搬入口から荷物用エレベーターでホールまで上がれるようになっているのであれば問題ない。(ひまわり) ・公演終了まで搬入口にトラックを置いたままにできるとよい。(バレエ)
その他	施設構成など	・大ホールだけで閉じた空間にしてしまうと勿体ないので、ホールを使わない時でも、何らかの人の流れが欲しい。(音芸協) ・音出し可能なフロアやエリアを区分する等工夫してほしい。(詩吟)

③学校園(小中学校・利用高校及び私立保育園・幼稚園)へのヒアリング・アンケート

i) ヒアリング対象

以下の5団体へのヒアリングを実施しました。(順不同。括弧内は表記上の略称。)

- ・茨木市公立小学校校長会(小学校長会)、小学校音楽部会(小音部)※
- ・茨木市公立中学校校長会(中学校長会)、中学校音楽部会(中音部)※
- ・大阪府立北摂つばさ高校(つばさ高)
- ・大阪府立春日丘高校(春日丘高)
- ・大阪府立茨木高校(茨木高)

※小学校音楽部会、中学校音楽部会は小学校校長会、中学校校長会を通して意見聴取しました。

ii) ヒアリング結果(主要望・意見)

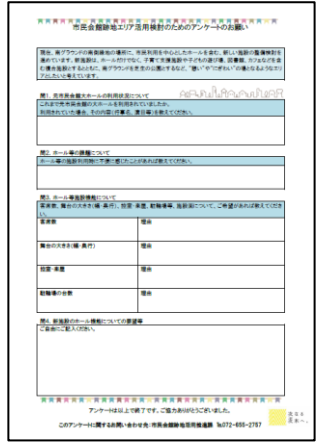
項目		要望・意見【小中学校・高校】
メインホール (大ホール)	客席数	・1,200～1,500 席。式典以外にも本格的な音楽・演劇のできるホールが望まれる。1,200 席以上だと2階席を有することとなり、音響的に適している。(小学校長会) ・保護者の参観を考えると 1,000 席以上。1 階席と 2 階席など保護者席と児童席が分離できる方が連合音楽会としては利用しやすい。(小音部) ・1,500 席程度。本市には生徒数が 800 名を超える中学校があり、全校生徒・教職員・保護者を収容できる規模の客席数が欲しい。(中学校長会) ・1,000～2,000 席。(中音部) ・高校の規模となると、800 人規模のホールでは厳しく、1,200 人規模のホールが必要。(つばさ高) ・高校としては 1,000 名を超える行事があるため、1,200 人規模のホールを要望する。(春日丘高) ・全校生徒＋α(保護者や教職員)を収容できる席数があれば様々な教育現場で使える。生徒数が 1,040 人であり、教員を含めると 1,200～1,300 席は必要。(茨木高)
	親子室	・小さい子ども連れの観客のための専用室があるとよい。(小学校長会)
	舞台の大きさ	・間口 20m、奥行き 10～15m 程度。オーケストラや大編成の吹奏楽ではステージで 100 名の演奏ができるよう、十分な広さが欲しい。(小学校長会) ・最低でも立命館ホールの大きさ。車いすなどで音楽会に出演する児童が、客席から舞台上上がることがあるので配慮してほしい。(小音部) ・学年合唱ができるよう、250 名が上られるステージ。合奏する場合は楽器スペースが必要。(中学校長会) ・舞台は間口 20m、奥行 8.3mほどの広さ。(中音部)
	舞台機構	・音響反射板や緞帳の利用。(小音部) ・可動式の音響反射板の設置。(中音部)
多目的ホール	客席数・使い方など	・固定椅子がない多目的ホールがあればよい。(前のドリームホールのような場所)。小さな演奏会や発表会、イベントに活用したい。連合音楽会では、お弁当を食べたり、大勢が集まれる待機場所が欲しい。(小音部) ・大ホール以外に、ちょっとした発表会(音楽系の合同コンサート等)で使えるような中または小ホール(200～300 人程度)を希望。(茨木高)
関連諸室・動線など	ホワイエ	・開場前にお客さんが並ぶため、ホワイエを広く確保してほしい。(小音部)
	リハーサル室・練習室	・本番前の声出しや音出しなどの練習できる部屋。パートに分かれての練習や人数の多い団体の控室としても使えればよい。(小音部)



項目		要望・意見【小中学校・高校】
		・ 複数室 設置してほしい。(中音部)
	楽屋(控室)	・本番中でも楽屋で音出し、発声ができること。 控室は大小複数あり、多用途に使用できる ことが望ましい。(小学校長会) ・使い道によって広さの違う控室で、音出し可能な部屋。(中音部)
	搬入動線	・楽器や舞台道具などの トラック搬入のしやすさ 。(小学校長会) ・搬入口は立命館ホールのように、トラック荷台から直接舞台裏に搬入できるようにして欲しい。(小音部) ・4トラック数台で搬入可能な(駐車)スペースと搬入口の設置。(中音部)
その他	施設構成など	・式典等で集合・整列、昼食をとれる程度のスペース(エントランス)を確保してほしい。(中学校長会)

iii) アンケート調査(市内私立保育園・幼稚園)

■ 実施概要

実施期間	平成 30 年(2018 年)8月～9月
回答数 (計 23 園)	私立保育園連盟(13 園) 私立幼稚園連合会(10 園)
調査方法	・アンケート 自由記述形式 ホールの利用状況等について、各園での利用実績をふまえて回答をいただきました。 問1. 元市民会館大ホールの利用状況について 問2. ホール等の課題について 問3. ホール等施設機能について 問4. 新施設のホール機能について 

■ 調査結果

項目		主な回答
メインホール (大ホール) その他	客席数	【保育園】 ・最低でも今くらいの数は欲しい(600～800 人収容)。 ・大きな行事の時には、以前のホールくらいの席数(1,000 席)があるとありがたい。 ・以前のホールよりも多い客席数。学校主催の行事だと入りきらない。大きなコンサートなどできるように。 ・2,000 人規模。立命館のホールも 1,000 人なので、これくらいは欲しい。 ・800 席の大ホール、300 席の小ホール。使い方によって選べるなど。 【幼稚園】 ・現在(元市民会館)の席数は必要。小ホールは他にある。 ・1,000 席くらい。あまり広すぎると後方から見えにくい。 ・1,000 席以上に増やしてほしい。生活発表会の時に家族席がほしいため。
	舞台の大きさ	【保育園】 ・(元市民会館の)幅はちょうどくらいで、奥行きは大きめがよい。 ・奥に深い舞台であれば、バレエやミュージカルの上演がしやすいと思う。 【幼稚園】 ・立命館ホールくらいの舞台。以前の大ホールの奥行きは少々狭かった。 ・間口 20m、奥行き 10m、高さ 9.5m位に広くしてほしい。今までは全体が小さいため、ひな壇が足りないことがあった。
楽屋・控室、その他		【保育園】 ・舞台と同じ階(フロア)にしてほしい。(元市民会館は)階段、通路が狭かった。 ・大・中・小など複数室ほしい。利用者の人数に合わせてスタンバイでき、シャワールームもあると出演者が喜ぶと思う。 【幼稚園】 ・控室としての大きさとして(ドリームホール位の)小ホールがあるとよい。 ・行事をするのに、5室は必要。(職員と園児が利用。)
その他ホール機能への要望		【保育園】 ・茨木市内にコンサートができる会場が少ないので、可能なら舞台の大きさ、客席数もそれなりの機能をもったホールを希望。 ・大・小ホールがある方がよいと思う。 ・照明や音響も充実してほしい(ピアノ含む)。 ・以前のドリームホールのように、小規模で利用できる部屋もあると一般市民団体も使いやすいと思う。 【幼稚園】 ・茨木でもっと著名な方を呼び公演し、高度な文化に触れる体験ができるようにホールの機能アップと客席数 1F・2F の充実。 ・研修室(30～50 人)、会議室(20～30 名)、100 名弱が体操、ダンス、レクリエーション他、実技や講習会などができる多目的ホール(設置片付け自在の雑壇席や更衣室が必要)。



④ホールに関する有識者ヒアリング

市民会館跡地活用検討委員会の委員であり、阪南市や東大阪市、豊中市などで指定管理者としてホールの管理運営に携わる株式会社大阪共立の川本由貴氏に、ホール運営の視点から助言を頂きました。

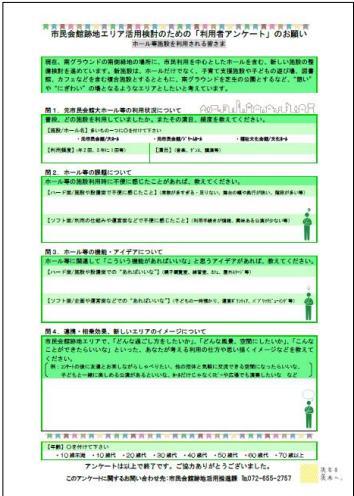
i) ヒアリング結果(主な意見・助言)

項目		意見・助言【ホール有識者】
メインホール (大ホール)	客席数	・客席数にあまりこだわらず、利用面を考えること。また、実際には視認性の悪い席出てくるため、ある程度幅を持たせて検討していくのがよい。
	舞台の大きさ	・舞台開口は中ホールクラスで8間(14.5m)、 大ホールは10間程度 が一般的。プロセニウム高さは、 最近では9~10m以上 のことが多い。 ・ 袖舞台(主舞台間口の半分の広さ)を上手・下手に確保 する方がよい。 ・機器操作室・スペースなどは舞台下手にあるのが一般的。
	舞台機構	・オーケストラピットを設置する場合は、電動式とすべき。
多目的ホール	客席数・使い方など	・多目的ホールをリハーサル室としても利用する場合は、できれば舞台サイドに近い配置とするのが望ましい。
関連諸室・動線など	ホワイエ	・メインホール、多目的ホールの同時公演に配慮し、ホワイエの場所や 客の動線ができるだけ輻輳しない ことが望ましい。
	楽屋(控室)	・ 舞台裏に廊下を介して楽屋を配置 するなど、舞台に近いことが重要。
	搬入動線	・搬入ヤードはL字の プラットフォームで11tトラックが入れる こと。 ・上層階にホールがある場合、搬入用EVは高さを含めて相応の大きさとする必要があり、舞台に直接面して道具を入れられる方が、効率的である。
その他	施設構成など	・複合施設のため、それぞれの施設エリアの適した場所に事務室の配置が必要になる。

(2)ホール・図書館・子育て支援施設 利用者アンケート調査

①実施概要

i)調査方法（アンケート回答／各施設の利用者に配布）

実施期間	平成 30 年(2018 年)7月		
【回答者】 計 599 人	【ホール利用者】 20 人	【図書館利用者】 185 人	【子育て支援施設利用者】 394 人
調査方法	・アンケート 自由記述形式 新施設への導入が考えられるホール、図書館、子育て支援施設機能について、現在(今まで)の各施設利用者を対象に、利用における課題や新施設への要望、アイデアを伺いました。 問1. 利用状況について 問2. 利用における課題について 問3. 新たに導入する機能・アイデアについて (こういう機能があればいいと思うアイデア) 問4. 新しい跡地エリア全体のイメージや使い方、要望について 		



②ホール利用者

i) 利用における課題

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・舞台の幅や奥行きが狭い、舞台袖が狭い ・座席が狭い、小さい、ゆとりが欲しい、前の座席との距離が近い ・席数が少ない(立ち見がでることがあった、学校行事における保護者の入れ替えを減らしたい) ・音響を良くしてほしい
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・何を開催しているのか等、情報の発信が不足している ・利用手続きが煩雑 ・興味のある公演が少ない ・有名な人(交響楽団、歌手、バンドなど)に演奏してもらいたい

ii) 新しい施設への期待・連携

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・以前のホール(1,000 席)以上の席数のホール(学校行事等での利用を想定) ・1,200 席程度、可動席 ・大ホールだけでなく、音響の良い小規模ホール ・外からホールで何をしているのか分かるようになってほしい ・屋外ステージ ・フリーWi-Fi 設備 ・カフェ ・作業や勉強ができる場所(パソコン作業に対応して、電源が確保できる場所) ・親子で他世帯と交流できる施設(〇〇教室など)
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・パブリックビューイング ・子育て世代を主なターゲットにした仕組み、子どもの一時預かり ・子どもが音楽に興味を持つようなイベント ・ボランティアを運営に活用した“生きがいづくり”

③図書館利用者

i)利用における課題

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・席が少ない ・自習室が無い ・談笑等が気になる、騒がしい ・通路など、施設が狭い、施設が古い ・冷暖房の設備の効が悪い ・棚に本が多すぎる(床すれすれの下段にまで本があり、探しづらい)
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・開館時間が短い(特に土日)、開館が遅い、開館時間がバラバラ など ・CD の返却がしづらい、CD も時間外返却できるようにしてほしい ・探索機を増やしてほしい、使いづらい(検索絞り込み、所蔵しているかの確認) ・借りる際の本の移送に時間がかかる ・本が古い、新しい本がなかなか入らない ・予約した本がずっと借りられていない ・駐車場の無料時間を長くしてほしい

ii)新しい施設への期待・連携

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・明るい空間 ・1、2 階に分かれる場合は、自由に行き来できる構成 ・自習室、調べ物を行うスペース、グループルーム ・パソコン、インターネットが使える部屋 ・フリースペース ・CD・DVD 視聴コーナー ・市民からの告知板 ・机、椅子(読書専用)を増やしてほしい ・通路を広くしてほしい ・子ども向けの設備(お話し室、トイレ、キッズスペース) ・Wi-Fi 環境の整備 ・テラス席 ・ブックシャワーの設置 ・カフェ(飲食、談話スペース)の併設 ・コンビニの併設
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・蔵書・CD・DVD の充実 ・コンシェルジュ(本に詳しい人、本を探すお手伝いをする人) ・ブックトラベル、ビブリオバトル、作家講演会等、本に関連するイベント実施 ・ミニコンサート、ライブライリーコンサートの実施 ・映画・音楽鑑賞会 ・講座(趣味、ビジネスなど)の開設



④子育て支援施設利用者

i) 利用における課題

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・施設が古い(災害時に不安、トイレが子どもと一緒に使えるものでない) ・施設が狭い ・食事スペースが無い ・入口が分かりにくい、入りにくい ・幼稚園児くらいの子どもが遊べる室内プレイルームが無い ・0歳～年長のすべての年齢層には対応できていない ・エアコン等設備が良くない ・駐車場が無い、狭い、不便(敷地内に無い、有料) ・アクセス性が悪い、公共交通が不便
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・土、日、祝日に開所していない ・毎日開いていない、週3回程度しか開いていない ・開所時間をもう少し長くしてほしい(早朝、15時以降、18時まで預かってほしい) ・予約がすぐにいっぱいになる、当日急な利用ができない ・予約方法が電話のみ、ネット予約できるようにしてほしい ・人気講座の回数を月2回などに増やしてほしい ・イベント等の情報がわかりにくい ・施設のルールが分かりにくい

ii) 新しい施設への期待・連携

項目	主な回答
施設や設備面等 (ハード面)	・外遊びの空間(芝生、自然にふれあう、屋根付き、年齢別の区画が必要) ・屋内遊園(走りまわれるくらいの規模、年齢別の区画が必要) ・水遊びの空間、プール ・やわらかい床材の使用 ・カフェの併設(ママ同士がお茶を楽しめる場所、個室) ・飲食スペース(持ち込み可能、昼食、おやつ、離乳食)
利用の仕組みや 運営等(ソフト面)	・土日に利用できる場所(遊び場、イベント実施) ・開所時間の延長 ・イベント等の告知 ・子どもメインのイベント(リズム体操、屋外遊び) ・親が参加する企画(子育てについて) ・図書館とのコラボイベント(読み聞かせ) ・小学生でも利用できるようにしてほしい(兄・姉と一緒に利用) ・シャトルバスの運行

⑤跡地エリア活用の全体イメージについて

回答属性	主な回答
ホール 利用者	・子どもたちが楽しめる広場 ・ふらっと気軽に立ち寄ることができ、ゆっくり時を過ごせる場所 ・居心地の良い空間 ・何をしても良い静かなスペース ・若い世代が活用したくなるようなデザイン性の高い施設 ・日常的に利用できる場所 ・常に何かイベントがある空間 ・子どもを中心とした多世代が気軽に使えるホール ・屋外で食事やお酒を楽しめる空間 ・世代、世帯、団体を超えて交流できるような場所 ・芝生の上で生演奏を聴きたい
図書館 利用者	・スタイルに合わせた様々な部屋のある施設(畳などごろごろしながら本を読む) ・芝生で本を読みたい、木や草花の中で本を読みたい ・好きな場所で本を読みたい ・グループで音楽を聞きながら読書、学習、打合せなどができる空間 ・大人がくつろげる ・子どもがゆっくり過ごせるスペース(室内は絨毯・畳、屋外は芝生) ・ゆったりした空間 ・調べものができる、集中して作業ができるスペース ・憩いの場 ・茨木市の顔としての位置付け ・風が通り、光が降り注ぐ、自然が育つイメージ ・緑がある空間 ・あらゆる窓から緑が見える図書館 ・天井が高く、開放感のある空間 ・公園のような場所 ・リラックスできる涼やかなイメージ ・子どもと一日中遊べる公園や図書館 ・子どもと一緒に過ごせる空間 ・ミニイベントの開催
子育て支援施設 利用者	・子どもが自由に安全に遊べる場所、笑顔で過ごせる空間 ・雨の日でも遊べる空間 ・のびのび動き回れる場所 ・芝生広場 ・公園 ・自然がたくさんある場所、自然とふれあえる空間 ・憩いの場 ・幅広い年代の人と交流できる場所、多世代と関われるイベント・場所 ・子育て世代と話せる場所、仲良くなれる場所・イベント ・音楽など体験できることがたくさんある場所 ・明るい、やわらかい雰囲気、温かみのある空間 ・リラックスできる空間 ・多目的に使える空間 ・ファミリー層でも使える空間



(3)広場の使い方・過ごし方アンケート調査 @ BOOK TRAVEL

①実施概要

実施日	平成 30 年(2018 年)5 月 26 日
実施場所	茨木市中央公園南グラウンド 南側緑地
調査対象	BOOK TRAVEL@元茨木川緑地の来場者
調査方法	5 月 26 日に開催された「BOOK TRAVEL@元茨木川緑地」において、来場者に自由記述形式のアンケートを行いました。 【質問内容等】 ・質問ボードへの回答・自由記述形式 ・市民会館跡地エリアでの過ごし方について、平日や休日、時間帯に分けて意見・アイデアをだす。 ・意見・アイデアは付箋に記入し、平日・休日・時間帯の枠を設けた調査ボードに、それぞれ対応する意見を貼り付ける。



②調査結果

過ごし方のご意見・アイデアについてのまとめを次頁以降に示します。

i) 平日(日常)における市民会館跡地エリアでの過ごし方アイデア

時間	主な回答
早朝	・散歩、四季の花を楽しみながら。(49 歳、女性) ・気軽に参加できるウォーキング、散歩の会みたいなの。(35 歳、女性)
朝	・同世代とおしゃべり、お茶できる場所。(70 代、女性) ・子育て支援センターと広場がつながっていて、子供が外に出て遊べるようになっていたらうれしい。(20 代、女性) ・小さい子どもと気軽にカフェで食事 ・地元野菜や特産品常設(30 代、女性) ・おしゃれなカフェや食べるところ。子どもが食べるものを買える店、コンビニが入った施設を作り、一日そこでゆっくりできる。遊んだりリラックスしたりできる広場。
お昼	・芝が出来るとゴロゴロしに來たいです。(30 代、女性) ・カフェをつくって！！雨の日も晴れの日もつどえる場所にしてほしい！ ・カフェ併設の図書館(こころ辺縁が多いのでガラス張りだと尚嬉しい)。日光を取り込めるようにも。(18 歳、女性) ・小さい子が安心して遊べる広場がほしいです。(38 歳、男性) ・京都のマンガ図書館のような、寝転がって読書できるスペース。 ・子どもが小さいのでなかなかゆっくりコーヒーを飲む時間がないので、遊んでいる様子を見ながらのんびりできるカフェ。(46 歳、男性) ・子どもの本がとても充実した図書館。 ・日陰があればママ友とのんびりお茶やランチ。(42 歳、女性)
午後	・雨の日、暑い日でも利用できる屋根のある公園。(40 代、女性) ・外でお茶やごはんを楽しみたいです。イスとテーブルとパラソル、ハンモックもあると嬉しいです。 ・学生の子供たちが数人で勉強ができる無料のスペース(45 歳、女性) ・木陰の下でピクニックしたい。 ・芝生の木陰にてテレワーク(仕事)したい。電源コンセントがあればうれしい。机とイス(せめて机だけでも)。カフェも併設。 ・子どもが遊べる場所と、お弁当などを持ってきて食事できる所があるといいと思います！(30 代、女性) ・小中校生も遊べて、雨でも遊べ、ごはんも食べるスペースでゆっくり過ごしたいです。 ・子ども同士が芝生の上を走りまわれる広場を。(40 代、男性)
夕方	・子どもの習い事の中に、一人でのんびりすごしたい。(30 代、女性) ・緑の多い広場があればうれしいです。新施設に遅くまで開いているテイクアウトOKのカフェがあれば、ゆっくり過ごしたいです。(50 代、女性) ・無料でのんびりごろごろできる緑の多い空間であってほしい。飲食する場合もお安くできたらいいなあ(53 歳、女性) ・子どもが遊べる場所。トイレやカフェなどもあればいい。(40 代、女性)
夜	・芝生でゆっくりコーヒーやお酒を女友達と飲みたい。きれいなトイレの設置や防犯対策もお願いしたい。 ・近くに住んでいて子供が夜通るので危険でない(明るい)場所にしてください。 ・夜ライトアップされた散歩できたり、遊んだりする公園にしてほしい。カフェがあるといいね、夜はバーがあるといいね。 ・仕事帰りに立ち寄れるミュージアムやアートギャラリーがあるといいな。図書館も 21 時までやっているとうれしい。(46 歳、女性) ・音楽を聴いたりぼーっとしたり、のんびりと過ごしたい！！(30 代、男性) ・ただの広場のスペースだけだと夏季・冬季・雨天時の利用が十分にできないと思うので、半屋外で屋根付のスペースがあるとよいと思う。また 21 時くらいまで営業していると平日でも使いやすい。(27 歳、男性)



ii) 休日(特別な日)における市民会館跡地エリアでの過ごし方アイデア

時間	主な回答
早朝	・親子で楽しめる朝市(地野菜)や手作り市、気軽に楽しめるコンサート、ヨガ、ワークショップなどあればうれしいです。(39 歳、女性) ・野菜や地元のものを買いたいです。休日の早朝マルシェ！！(30 代、女性)
朝	・休日心地いい芝生でねっころがりたい！！地場産マルシェがもっと活性化したらいいな！(32 歳、女性) ・朝ヨガをしてそこでのんびり出来たりリラックスできるカフェがあればいいなと思います。芝生の上で本読んだり、ごろごろ出来たら集まりたいと思います！(30 代、女性) ・オープンカフェがあれば利用したい。簡単な遊具が欲しいです。(37 歳、男性) ・静かな場所に勉強できる机とイス、カフェ(44 歳、男性) ・子どもが本が大好きなので休日ゆっくりすごしたい。 ・犬と子どもが一緒に遊べる所。(12 歳、女性) ・子どもと遊んだり、お弁当を食べたりして、ゆっくり過ごせたらいいなと思います。(40 代、女性)
お昼	・子どもと遊んで弁当を食べたい。小さな子供が裸足で遊べるようにしたい。(38 歳、男性) ・図書館利用ついでにお弁当を持ってピクニック。(40 代、女性) ・孫と2～3時間過ごせるスペース。(64 歳、男性) ・異年齢、屋内で雨の日でも遊びにこれる、子供が声を出せる場所が嬉しい！(30 代、女性) ・大きな木の下で大好きな本を読みたい。(63 歳、女性) ・遊具をつくってほしい。芝生の上でごろごろしたい。(7 歳、女性) ・子どもを見渡せて親はベンチでお茶したい。子どもが出ていかない様にさくもつけてほしい。(31 歳、女性) ・休日の昼、ミニコンサートでも定期的に企画していただけたら聴きにきたい。(57 歳、女性) ・森の広場のような日影があるスペースで茨音とかの文化イベントをやってほしい。(20 代、男性)
午後	・大人はカフェの併設の図書館で本をよみながらゆっくりする。子どもは芝生、遊具、公園でのびのび遊ぶことができたらしうれしいです。(30 代、女性) ・安全できれいな広場！！のんびりとだれでもくつろげるような時間をすごせる子ども、おじいちゃん、おばあちゃんみんなが！！ ・図書館でコーヒーを飲みながら本が読めたらいいと思う。(14 歳、女性) ・屋外でもゆっくり音楽をきいてやすらげる。 ・芝生でのんびり読書、ライブのジャズイベントなんかも素敵ですね。(40 代、女性) ・緑や自然の多い気持ちのよい場所、子供も楽しく遊べる遊具またイベントなどで楽しく過ごせるスペース。休日に家族でゆっくりしたいです。
夕方	・気楽にお茶ができるようなスペースや、外で買ったものを持ち込んで、飲食できるようなスペースが図書館に並設されとうれしい。(21 歳、女性) ・音楽やダンスをみながらカフェや本を読んで、子供たちは遊具で遊んで過ごしたいです。雨の日も。
夜	・集いとにぎわいの空間・低価格で時間貸しをして学生や市民のやってみたいことを(イベント等)自由に表現できる場所に ・プロジェクターで映画やスポーツ観戦。(40 歳、女性) ・夏は星のイベントをしながらビアガーデン！芝生でのんびり遊べるピクニックができればいいな。(43 歳、性別不詳)

2 ワークショップ編

(1) 市民会館跡地エリア活用施設・広場づくりワークショップ

① 実施概要

実施期間		平成 30 年(2018 年)6 月 2 日(第 1 回)、7 月 8 日(第 2 回)	
参加者		第1回施設編:29 人、広場編:28 人 第2回施設編:15 人、広場編:16 人	
概 要	分 野	【施設編】	【広場編】
	第 1 回 6/2	基本構想で想定されている機能(ホール・図書館・芝生・子育て支援など)を素材に実現したい「使い方アイデア」を出し合おう	将来の跡地エリア整備や秋の社会実験企画に向けて、現在の市民会館敷地周辺の風景を素材に「広場利用コンセプト」テーマを考えよう
	第 2 回 7/8	(STEP 1) 自分が考えている物語を最も表現する「イメージ写真」を一枚選ぼう (STEP 2) 各テーマに関する物語をグループで考えてみよう (STEP 3) 物語を実現するために大切にするポイントを整理しよう	(STEP 1) 考えてきたアイデアを紹介し合おう (STEP 2) 企画を具体的に計画しよう





②施設編

i) ワークショップ 施設編(第1回)

施設機能が重なることで得られる使い方や過ごし方について、グループワークで考えました。

■主な意見・アイデア

機能1		機能2		機能3		使い方・過ごし方アイデア
大屋根	×	芝生	×	ホール	=	大屋根の下でライブ
大屋根	×	遊具	×	カフェ	=	お茶をしながら子どもが遊ぶのを見守る
屋内の遊び場	×	屋外の遊び場	×		=	シームレスな遊び場、いつも笑い声が聞こえる施設
屋内の遊び場	×	子育て支援	×	カフェ	=	子どもを遊ばせながら、相談ができ、ママ友作りも
屋内の遊び場	×	市民活動センター	×		=	他年齢交流の場
図書館	×	カフェ	×	元茨木川緑地	=	ほっこり、ゆったり、くつろぎ
図書館	×	プラネタリウム	×	カフェ	=	くつろぎの空間
プラネタリウム	×	芝生	×	図書館	=	子どもたちと家族で調べて星空観察会
プラネタリウム	×	ホール	×	カフェ	=	温かいコーヒーを飲みながら、星を見て音楽を聴いて、日常を忘れる「星見コンサート」
ホール	×	カフェ	×	広場	=	気軽に入ることができ、人の集まる場所
ホール	×	図書館	×	カフェ	=	お茶しながら芸術に触れて、背景の知識を調べられる。知識や芸術に触れられる総合的な空間
ホール	×	図書館	×	プラネタリウム	=	図書館で音楽を楽しみながら星を見る
ホール	×	ロビー	×	イベント	=	普段使いからハレの舞台まで楽しめる場
元茨木川緑地	×	ホール	×		=	自然の中で音楽を楽しめるイベント



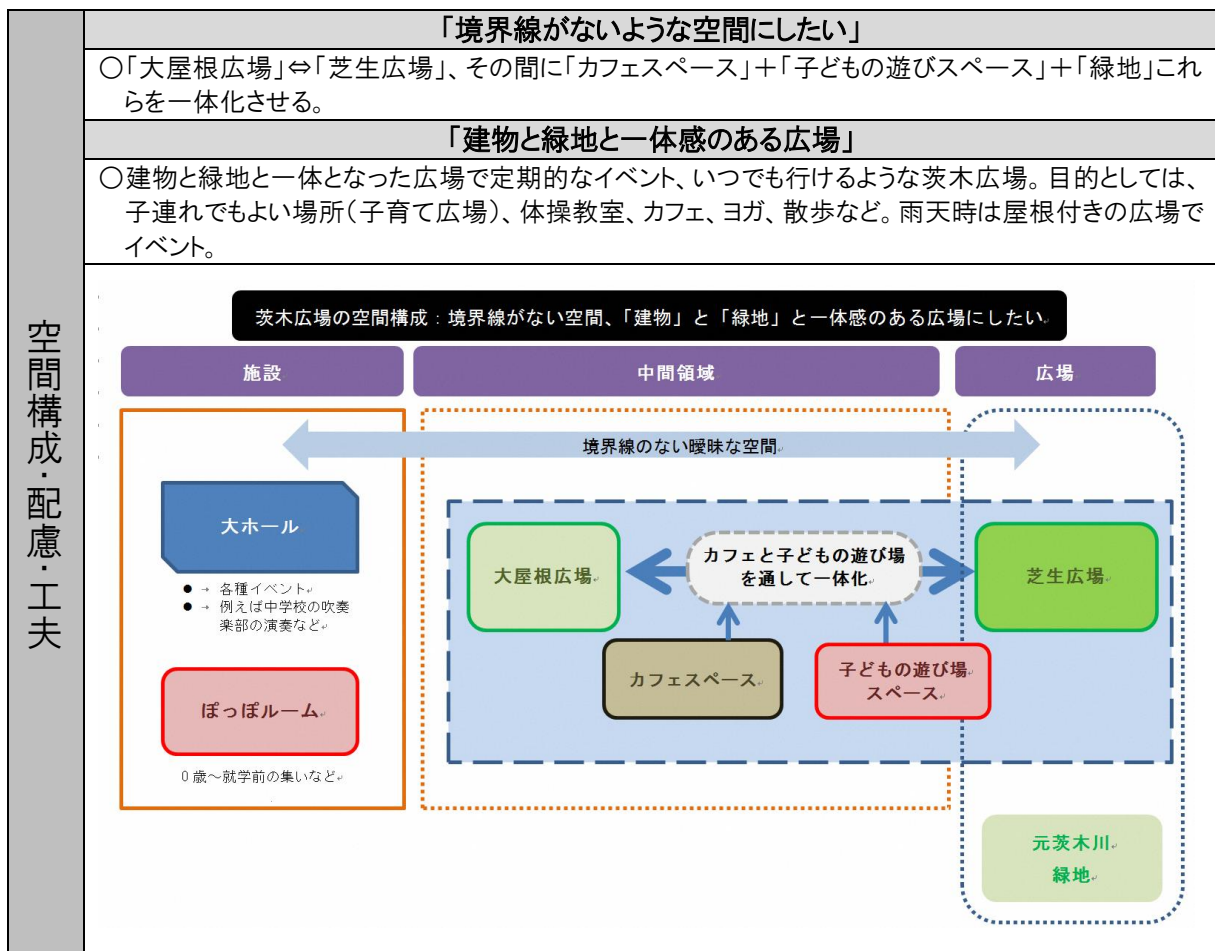
ii)ワークショップ 施設編(第2回)

第1回ワークショップの意見を整理して、新しくできる施設での過ごし方や楽しみ方の物語を考えました。そして、それを実現するために必要なコモノヒトや、空間構成などについても話し合いました。

グループ(1):イベントが紡ぐ Civic Pride

物語のポイント	
・イベントから思い出ができ、茨木に対する郷土愛や人間関係も深める場所にしたい。 ・建物と緑地を一体化させて境界線のない曖昧な空間にする。	
大切にしたいこと	必要なコモノヒト
人間関係・郷土愛	コト: やりたいことができる・偶然に出会える仕掛け モノ: やりたいことできる場所 ヒト: 企画管理できる人

物語の内容	「偶然から出会える仕掛け」(イベント⇒思い出⇒郷土愛⇒人間関係)
	○例えば、中学校の吹奏楽部のイベントを大ホールで行う、そこが「思い出」になるようなところになる。 ○偶然から出会える仕掛けが必要ではないか。そのための「イベント」があって「郷土愛」が育つ、さらに「人間関係」が生まれるのでは。 ○目的があってもなくても人間関係や思い出が生まれる広場。



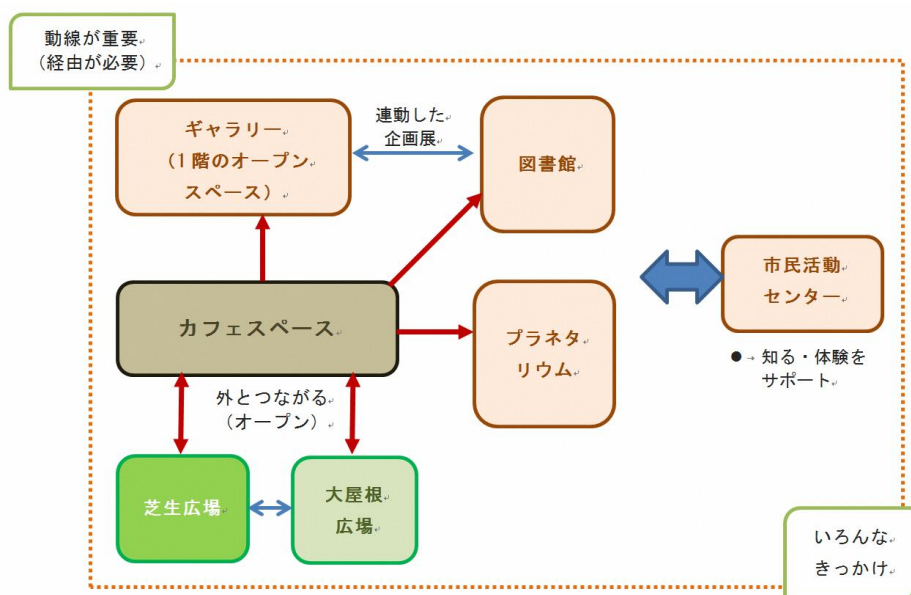


グループ(2): ついでから始まるストーリー

物語のポイント	
・「ついで」をきっかけに「学び」や「芸術」を知るような物語を描く。 ・ハード面だけでなく、ソフト面も重視、物理的にも精神的にもバリアフリーなシンプルでフラットな空間にしたい。	
大切にしたいこと	必要なコトモノヒト
・機能同士が連携・近接 ・オープンであること ・ソフト面でも連携	コト: 心のバリアフリー モノ: シンプルな空間

物語の内容	「ついで」から「学び」×「芸術」の物語がある場所
	○「学び」と「芸術」の場として楽しめる。～のついでに学んだり、～のついでに人と出会って楽しんでいきたい。物語がたくさんある場所にしていきたい。
	(例) ・アートイベントができるような空間でのんびり過ごせるところ。ギャラリーがあったり、図書館に行ったりして、図書館で本を借りてカフェでゆっくり読んだりできる。 ・オープンカフェで楽しむこともできる。ヨーロッパの市役所の広場にカフェが広がっているようなイメージ。 ・市民活動センターでトークショーをしてくださる人がいればいいと思う。それぞれいろんな機能に触れ合える仕組みづくり、ついでをたくさん生み出してそこからこの施設を楽しむストーリーを描けたらいい。
	物語として、～を知る事⇒～をしらべること⇒くつろぐこと、の順になる。 ○図書館にいく予定があったけど、カフェで休むことができる、ギャラリーに行ったり、茨木の歴史を知るなどなにかを知ることができる。このような流れがあればいいのではないだろうか。

空間構成・配慮・工夫	「だれでも利用できるシンプルでフラットな空間にする」
	○ギャラリーに関してはシンプルな空間であればより楽しめると思う。
	「ギャラリー」として入りやすい「オープンスペース」―「図書館」―「カフェスペース」をつなげる
	「ハード面」×「ソフト面」両方を重視
	○これらを実現させるにあたって大事なものはハード面・ソフト面両方重視すること。オープンスペースなど入りやすい空間であることが大事。
	「フィジカル面」×「メンタル面」両方のバリアフリーも重視
	○物理的にいろんな方が入れるバリアフリー、こころのバリアフリーも配慮すべき。物理的にも精神的にもフラットな感じで入れる場所。

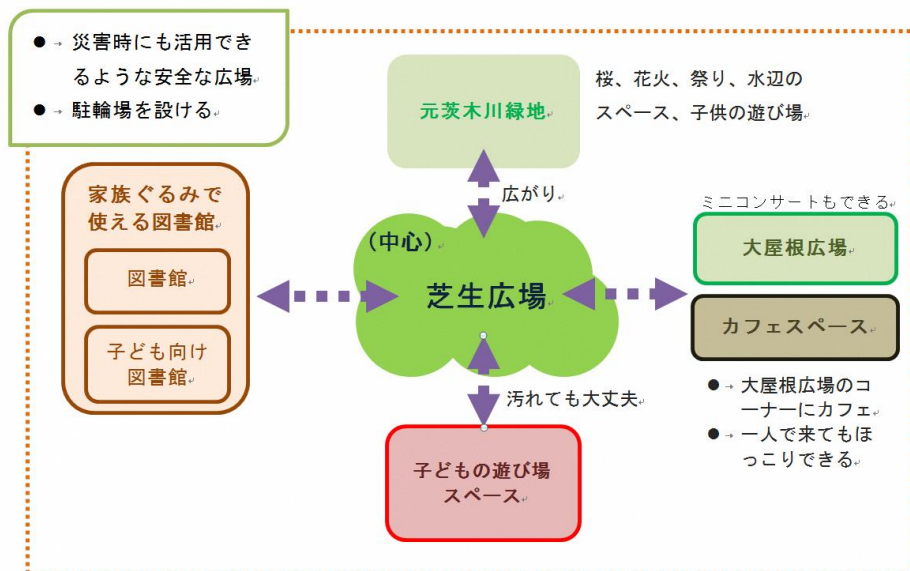


グループ(3):いくつになってもほっこりできる(ほっとする)、戻ってきたくなる、茨木ふるさと広場

物語のポイント	
・茨木全市民のための広場、ほっこりする空間で、だれでも入りやすい身近な空間にする。 ・茨木市民が安全に過ごせる広場、災害時でも活用できる場所にしたい。	
大切にしたいこと	必要なコトモノ
・遊具を入れない。異年齢の広場だから。 ・カフェ。グループで話せること ・子どもの安全安心 ・球技ははずす。グラウンドではない。	ヒト:遊び方を教える人。プレイリーダー モノ:道具を貸し出してくれる(ドッチビーなど)

物語の内容	「茨木市全市民の広場」
	・みんなが集まる広場(こども、若い世代、お年寄り)。 ・安心して過ごせる子ども、楽しく過ごせる若者、年をとってもロマンスをもっている。すべての茨木市民が楽しめる、多様なものが揃えられている場所にするコンセプト。 ・タイトルが、いくつになってもほっこりする戻りたくなる故郷茨木広場。 ・ほっとできる場所、「IFP」、茨木の青少年の犬「ほっと犬」、ほっとけないという言葉も活用したい。
	「ほっこりする空間での過ごし方」
	・どのような施設でこのようなことができるのか。対象として、ほっこりする人、みる人、簡単な買い物する人、夜間は花火などが楽しめる場所。その隣には一人でも楽しめるカフェがある。子どもが自由に遊べる場所、簡単な市場もあったらどうか。
	「安全な広場としての過ごし方」
	・もっとも大事なことがすべての人にとっての「安全」(特に子供)。まずは自分たちがつくったもので子供たちと遊んで行こう。 ・いろんな人が楽しめる場所にするために遊具・球技施設はいらない。危なくないものを設ける(遊び道具を貸してくれる施設があればいい)。 ・夜景、花火、水辺スペースとして活用できる。

空間構成・配慮工夫	「だれでも入りやすい身近な空間」
	・カフェスペースも「お茶飲み場」のような身近な感じにする。 ・一人でも子連れのファミリー世代にも気楽に行ける場所にする。みんなでたのしめる空間が望ましい。
	「駐輪場を設ける」
	・茨木広場に来るために「駐輪場」も設けること。こども健康センターもあればいい。
	「子どもも自分でなにかをつくれる空間」
	・子どもが遊具ではなく、自分自身でつくったりいろいろ勉強する空間。ほっこりした空間。
	「災害時でも活用できる場所になる」
	・震災時のことも念頭におくこと。その際にどうしたらいいかも考える。



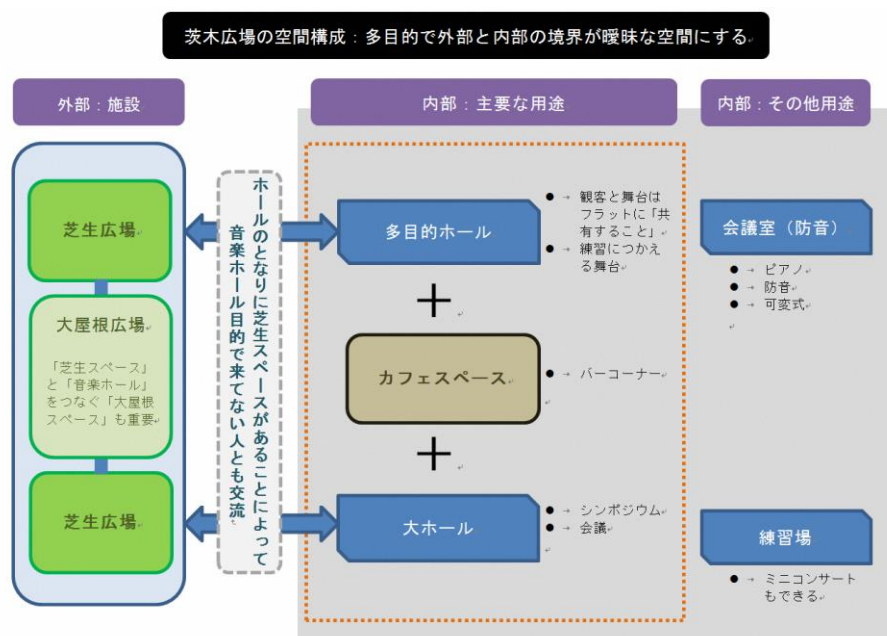


グループ(4): 音楽でつながる人の輪

物語のポイント	
・会場と観客がお互い共有できる多目的音楽ホール、「芝生スペース」―「大屋根スペース」―「音楽ホール」	
大切にしたいこと	必要なコトモノヒト
・人のつながり	ヒト: 専門家

物語の内容	「仲間ができる」×「みんなで楽しめる」 ・最も大事にしようとしているものは「仲間ができる」こと。会場にいる「みんなで楽しめる」ホールであってほしい。 ・ホールだけに完結するのではなく、外(広場)にも出るようなホールが目的ではない人も楽しめるようにする。
	「自分たちでなにかをやる」 ・ふらっと会場に行き知らない人と交流が生まれるように誘導する。 ・そこで生まれた交流でコミュニケーションが取れるようにしたい。 ・音楽を聴くだけでなく、プロの方に教えてもらい「自分たちで演奏する」。 ・子どもだけでなく大人も楽しめる交流が生まれるような機能があってほしい。 ・最終的には仲間をつくることで人が集まる空間になるのでは。
	「人の心を育てられる音楽ホール」 ・そもそも音楽のこと、音楽のホールのあり方がどんなものなのか。聴いている人と会場にいる人が「共有」できるように。人の心を育てられるような空間にする。またホールで完結するのではなく、それ以外の多目的な用途があればいい。若い人からお年寄りまで使える空間。ホール以外にもカフェスペースも設ける。

空間構成・配慮・工夫	「芝生スペース」―(大屋根スペース)―「音楽ホール」 ・ホールのとなりに芝生スペースがあることによって音楽ホール目的で来ない人とも交流ができるのでは。「芝生スペース」と「音楽ホール」をつなぐ「大屋根スペース」も重要だと認識している。
	「大屋根で「ホール」と「カフェ」をつないだ曖昧な空間」 ・空間と空間をつなげるためにも大屋根の内と外の曖昧な空間のようなフラットな場所があればいい。
	「音楽ホールの運営は専門家が行ってほしい」 ・具体的に施設と機能を空間に落とし込んだ際に、音楽ホールがメインになるため専門的な人が運営することが望ましい
	「音楽ホールに付随する施設」 ・ホールだけでなく「練習場」も設けたい。また「多目的ホール」で観客と舞台がフラットな関係になるような場所になればいい。その他、会議室、カフェも必要である。



③広場編

i) ワークショップ 広場編(第1回)

人工台地周辺の写真をポスターにし、「こうなるといいな」ということをみんなで書き込みます。そのイメージをもとに、グループで使い方のコンセプトを考え、そのために必要なものなどを話し合いました。

■ 平日早朝 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
平日早朝	平日朝は限られた時間 手軽に、パッとできる広場	(平日朝は時間が限られている) ・ニュース・天気予報が得られる。 ・道具が貸し出されて気軽に練習できる(グラウンドゴルフなど) ・運動のあとにシャワーを浴びることができる ・ドリンクコーナーなどで休憩できる。	・情報案内掲示板
	みんなで過ごす、共に過ごす広場	・朝ごはんを食べる＝子ども食堂 ・健康づくり・リフレッシュをする(体操、散歩、ヨガ、ジョギング、音楽かけながらゆっくり運動) ・出会い(知り合いと出会う、待ち合わせる、みんなで宿題をする) ・通学前におじちゃん・おばちゃんと会話 ・朝マルシェを楽しむ	・広場の様子が見える開放的な設え ・その一方で視線を遮る樹木 ・パラソル・小さなテーブル・椅子 ・歩道を広げて、歩行者・自転車分離 ・出入りしやすい開放感 ・子どもが歩きやすい空間(石垣や壁は無くす)
	今日も一日頑張ろう!と思えるような(朝の時間を使える)広場	・通勤前にコーヒーで一服 ・朝ごはんを食べる ・新聞を読む	

■ 平日のお昼(お昼休み) 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
平日のお昼(お昼休み)	平日昼はイベント利用よりも普段使い 家にいるようにくつろげる場所(家や職場のような普段使いの場所)として使える広場	・昼寝をする。昼休みに休憩 ・大学生が空き時間にゴロゴロ ・そこにいて人と交流 ・ぼーっと眺めるものがある ・午後の仕事に向けて頭をリフレッシュできる思想するスペース ・学校で集中できなくなった時に気分転換できる ・本を読んだり、ボーっとしたりする ・母親と赤ちゃんが散歩する ・ドッグラン ・幼稚園児が集まる ・ダブルダッチをしている(にぎやか) ・芸術作品や市民の作品を飾る ・興味を惹くもの(キッチンカー、弁当販売、気軽なイベントステージ、フリーマーケット、市)	・通り抜けたくないように道に花を飾る ・自転車も通れる工夫、誰でも入りやすい雰囲気 ・噴水など水辺 ・日陰(パラソルよりも大きなもので、大きな日陰、あずまや) ・寝られるマット ・机・椅子 ・雨の日、寒い日、暑い真夏に過ごしやすい工夫
		・PCの電源があり仕事ができる場所	屋根、電源

■ 平日の夕方 広場での過ごし方・使い方



【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
平日の夕方	短い時間帯ならではの利用方法 夜に向け、気持ちをリセットできる広場	・ヨガなどちょっと体を動かす ・気軽にスポーツできる教室が行われている ・家に帰る前にホッと一息できる ・仕事帰りにちょっと一杯できる ・阪急～JR移動中のビジネスマンが一服できる場所(ママと子ども中心の場所ではなく) ・仕事帰り、学校帰りに立ち寄り、夜に備える ・太極拳、将棋 ・雑誌を読む	・西日が避けられる屋根
	みんなが会う時間帯の広場	・入れ替わり、立ち替わり集える(スクランブル) ・若者と高齢者が出会い、語らう。多世代の交流の場 ・ミーティングやおしゃべりする(そのまま夜まで過ごすこともある)	・大小ベンチ ・移動できる本棚 ・掘りごたつ式の机
	子どもが安心して過ごせる広場	・安全なところで昼寝 ・子どもが安心なら、みんなが安心できる場	・自転車、スケボーなどの利用ルール必要。 ・ゴミの持ち帰り ・自転車進入禁止

■ 平日の夜 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
平日の夜	思い思いにまったり過ごせる、ふらっと立ち寄れる「市民のリビング」	・ご飯を食べた後にゆっくりおしゃべり／親しい人とおしゃべりできる ・静かに過ごせる1人スペースがある ・気持ちが落ち着く曲が流れている ・心安らぐ話を聞ける ・虫の音が聞こえる ・虫除けしてゴロゴロできるようにする ・寝転んで星を見る(星の観測会) ・映画上映(テントを複数張って各々でいろいろなジャンルの映画を観る) ・テントを張ってプラネタリウム ・みんなでテント泊 ・大学生による英語カフェ(子どもも大人も参加)	・人が集まってくるような誘導灯 ・キレイなトイレ(女性用・子ども用) ・掘りごたつ風の机 ・Free Wi-Fi ・充電スペース ・季節を問わずイルミネーション

■ 休日の朝(午前中) 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
休日の朝(午前中)	行けば何かある・行けば誰かいる市場がある広場	・早起きして1日を楽しむ ・朝市で買い物 ・地元の美味しいパンが食べられる ・フリーマーケット ・コーヒー飲みながら、買い物する人を待つ(移動 coffee shop がある) ・紙芝居 ・ランチタイムに音楽鑑賞できる(コンサート) ・外で食事する(パラソルでランチスペース) ・小さなキッチンがあり、ランチができるカフェ ・BBQができる設備(手ぶらOK)	・切り株型ベンチ(稼動式) ・待間に座る椅子 ・ソファで曲線デザインベンチ ・高さいろいろあるベンチ ・飲食・スポーツのための水場(手洗いできる・稼動式) ・キレイで安全なトイレ ・小さなステージ ・サイクリング基地(自転車置き場)
	「学び」や「交流」ができる広場	・本で交流(みんなが学べる場所)する。読書会 ・本の交換会 ・本棚をつくってまちライブラリー+イベント ・朝ヨガを通していろいろな人と交流 ・ウォーキング/ウォーキング後に一息つける ・その時々集まった人で何も使わず遊ぶ ・高齢者から昔遊びを覚えてもらう、話を聞く ・動物(補助犬や猫)との交流	・本棚 ・食事にちょうどいいテーブルと椅子 ・ドッグラン
	思い思いに自由に過ごせる広場	・DIYでつくる、来た人も気軽に手伝う ・ラジコンを走らせるちょっとしたレーン ・ミニマツを使った思い思いの過ごし方(昼寝・遊び・勉強) ・子どもが水遊びできる ・PC持参して仕事をする(ワークスペース) ・木陰でゆっくりする ・靴を脱いで、芝生でボーっとする ・待ち合わせする	・無料 Wi-Fi スポット ・日よけ ・椅子 ・ミニマツ ・水遊びができる場

■ 休日の午後・夕方 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたいの姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
休日の午後・夕方	・ゆっくり、ゆったり過ごせる広場 ・買い物帰りであちこちと寄れる ・小グループ(夫婦や友人)で楽しめる ・子どもと一緒に時間が過ごせる ・夜を楽しむ前の前座的時間	・ゆっくりと家族とビール ・ゆるさがあるけど充実した時間を過ごす ・芝生に座ってランチを食べる ・1人暮らしのお年寄りが食事ブースがある ・月曜日に向けて気持ちを落ち着かせる時間(「明日からまた仕事やなー」とたそがれる。 ・ゆったりできる(寝転がりながら気分転換できる) ・ちょうど良いテンポ、ジャンルの音楽が流れる ・水遊びができる。 ・ペット連れで集まる。 ・スポーツなどでリフレッシュ(サッカーやランニング等の教室) ・ストレッチや筋トレ、裸足でウォーキング	・小さい子どもが飛び出しにくい工夫 ・シャワーブースやロッカー



■ 休日(週末)の夜 広場での過ごし方・使い方

【主な意見(抜粋)】

	ありたい姿	過ごし方・使い方	求められる機能・設備
休日(週末)の夜	週末夜 気軽に集まれる 「市民のダイニング」(週変わりで雰囲気異なるイベントがある)	・ライブ(プロアマ問わず)や音楽イベント ・地元のお店があつまる小さな飲食できるお店・フードコートがある。 ・こたつBAR、おでん屋台、ご当地ラーメン、屋台 ・女子も夜飲みできる ・星空眺めながらビアガーデン ・プロジェクションマッピング ・プロジェクターで映画やスポーツ観戦(パブリックビューイング)	・音楽イベントやお店が出せる空間 ・プロジェクターを投影できる



(2)アクティビティ調査(一部抜粋)

①実施概要

調査日	<社会実験実施前>平成30年(2018年)5月12日(土)、5月24日(木) <社会実験実施中>平成30年(2018年)11月1日(木)、11月3日(土)※ ※イベント開催日以外に設定
調査時間	各日とも8時～20時
調査場所	人工台地上芝生広場周辺
調査方法	調査員による定点調査
調査内容	社会実験「IBALAB」の実施前と実施期間中とを比較し、広場周辺にいる人の行動や滞在時間などにどのような変化が見られるのかについて調査。

②調査結果

社会実験実施前と実施中を比較すると、イベントを開催していない日であっても、来訪者数は平日で約1.5倍、休日で約2.3倍に増加しました。

【来訪者数の変化】

	社会実験実施前	社会実験実施中	増加率
平日	192	282	1.46
休日	245	558	2.27

また、広場での行動には、平日・休日ともに、会話を楽しむ人や座ってのんびりと時間を過ごす人、遊ぶ子ども達など、新たな行動の増加が見られるほか、複数人で過ごす人数、割合ともに増加するなど、“場”ができることによる日常の変化が見られました。

【来訪者の行動数の変化】

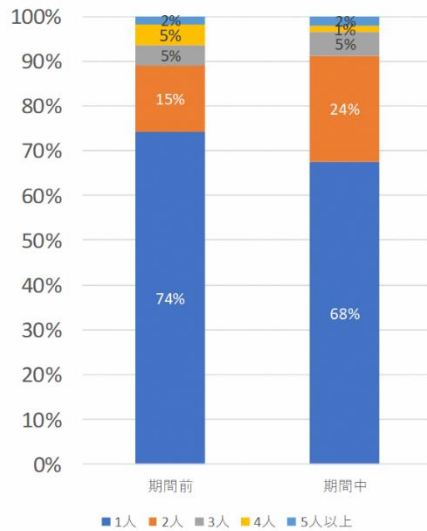
<社会実験実施前>		<社会実験実施中>		<社会実験実施前>		<社会実験実施中>	
行動	数	行動	数	行動	数	行動	数
飲食	17	飲食	15	飲食	15	飲食	52
携帯操作	15	携帯操作	21	携帯操作	53	携帯操作	44
電話(通話)	0	電話(通話)	7	電話(通話)	5	電話(通話)	14
会話	28	会話	35	会話	20	会話	63
読書	1	読書	0	読書	2	読書	2
佇む/座る	43	佇む/座る	51	佇む/座る	36	佇む/座る	65
人を眺める	13	人を眺める	24	人を眺める	6	人を眺める	9
写真を撮る	1	写真を撮る	2	写真を撮る	4	写真を撮る	3
睡眠	2	睡眠	1	睡眠	1	睡眠	0
勉強・作業	6	勉強・作業	0	勉強・作業	0	勉強・作業	0
子供が遊ぶ	2	子供が遊ぶ	12	子供が遊ぶ	6	子供が遊ぶ	33
観覧	0	観覧	7	観覧	0	観覧	1
案内閲覧	3	案内閲覧	8	案内閲覧	3	案内閲覧	7
スポーツ/運動	9	スポーツ/運動	1	スポーツ/運動	13	スポーツ/運動	1
ペットの散歩	6	ペットの散歩	4	ペットの散歩	9	ペットの散歩	5
信号を待つ	9	信号を待つ	9	信号を待つ	11	信号を待つ	1
その他	15	買物	9	喫煙	2	喫煙	3
計	170	花の世話・鑑賞	2	その他	8	その他	25
		散歩で通過	5	計	184	計	328
		喫煙	1				
		その他	14				
		計	228				



【複数人での来訪数・割合】

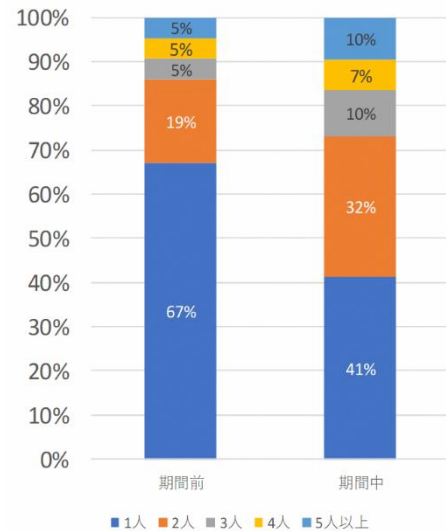
<平日>

	社会実験実施前	社会実験実施中
1人	81	100
2人	16	35
3人	5	8
4人	5	2
5人	2	3
計	109	148



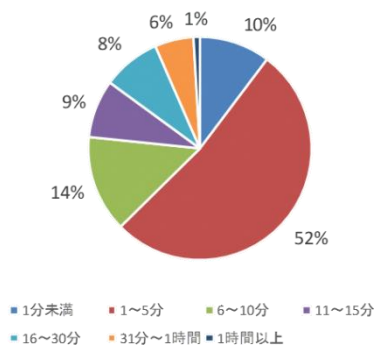
<休日>

	社会実験実施前	社会実験実施中
1人	100	100
2人	28	77
3人	7	25
4人	7	17
5人	7	23
計	149	242

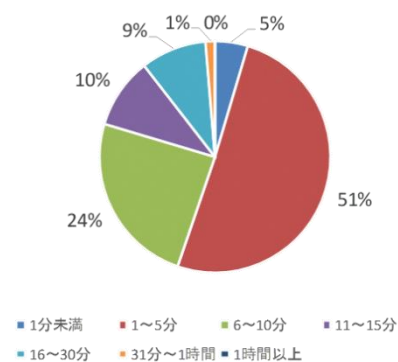


滞在時間の比較では、平日において1分未満のごく短時間での割合が減少し、6～10分の滞在割合が増加していることに加えて、休日では1分未満の滞在割合がゼロとなる一方、6分～10分、16分～30分の滞在割合が増加するなど、滞在時間が延長される傾向が見られました。

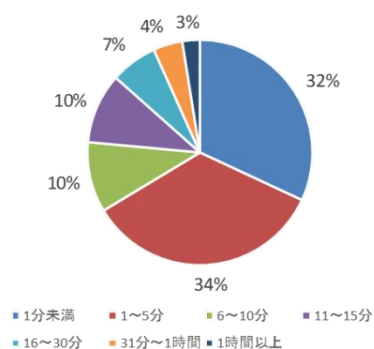
【期間前】平日の滞在時間



【期間中】平日の滞在時間



【期間前】休日の滞在時間



【期間中】休日の滞在時間

